

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：乙訓福祉施設事務組合

プロジェクト名	過ごしやすい快適な施設空間づくりプロジェクト		実施期間	平成27年度	テーマ	施設環境整備	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乙訓若竹苑は障害者総合支援法に基づいた通所施設で、就労継続支援(B型)事業、生活介護事業、相談支援事業、地域活動支援センター事業及び日中一時支援事業を行っており、主に向日市、長岡京市、大山崎町の乙訓地域の18歳以上の障がいをお持ちの方が利用されている。</li> <li>・乙訓若竹苑は福祉避難所に指定されており災害が発生すれば当施設の利用者だけでなく地域全体の障がい者とその付き添いのご家族が避難所として利用されるため、体調を崩されないような快適な環境づくりが必要になる。</li> <li>・相談支援事業では当施設利用者以外の計画作成も行っており、障がい者並びにそのご家族の地域における生活支援、社会参加の促進と自立に努めている。一般住民からの福祉に関する基本相談の依頼も今後増加すると思われる。</li> <li>・乙訓若竹苑は開所以来32年を経て施設老朽化が進んでいるが、地域住民が来苑しやすい施設にするため毎年施設整備計画に沿って施設環境を整えている。</li> </ul>							
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の改修工事でこれまでのセントラル方式の空調設備から各部屋個別の空調システムへ一新し、より快適な作業空間、活動空間を整える。</li> <li>・福祉避難所開設時には障がい者とその付き添いの方がそれぞれの体調等に合わせて快適に過ごしていただける環境を整える。</li> <li>・一般地域住民が、福祉に関する相談等で来苑された際にも開かれた施設環境を整える。</li> </ul>							
	総事業費（千円）	23,544	本年度事業費（千円）	21,384	交付金額（千円）	900		
プロジェクトを構成する事業の平成24年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村実施事業	障がい者通所施設「乙訓若竹苑」空調設備改修事業	交付対象事業	快適な環境下で利用してもらえる施設になるために改修工事を行う。		乙訓若竹苑の作業室、支援室、事務室、廊下、食堂及び厨房の空調設備改修工事を行った。			
住民協働事業								
住民が取り組む事業								
成果指標①	成果指標の目標数値	過ごしやすい安全で快適な環境を整えた施設づくり		成果指標の実績値 (27年7月31日時点)	就労継続支援(B型)事業 下請軽作業及び自主製品 対前年度7月売上比74%増			
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	H26年度はやむを得ず施設外の建物を利用したプログラムを組むこともあったが、空調改修により施設内で作業に集中できる等目標通りの成果が得られた。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			
成果指標②	成果指標の目標数値	地球温暖化防止に貢献		成果指標の実績値 (28年3月31日時点)	対前年度利用料金比 ガス料金39%減 電気料金16%減			
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	省エネタイプの設備を導入したことにより、環境面において地球温暖化防止に貢献できた。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：乙訓福祉施設事務組合

<p>本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果</p> <p>※未達成の場合も効果を記載すること</p>	<p>乙訓若竹苑は多機能施設で、平成26年度は移動困難な利用者も隣の建物まで移動して作業を行わざるを得ないことや、避暑を兼ねた図書館等の外出レクの頻度を多くするなど各事業ごとに苦慮しながら支援プログラムを組んでいたが、空調設備を改修したことにより作業室で作業に集中して取り組めたり、苑内で落ち着いて過ごせるようになった。</p> <p>福祉避難所開設時には、普段利用している利用者だけでなく地域の障がい者とその付き添いの方に少しでも快適に過ごしてもらえるようになった。</p> <p>省エネタイプの設備導入により、地球温暖化防止に貢献できたとともに、ガス料金及び電気料金が大幅減額となった。</p>	
<p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>		
<p>本プロジェクトに対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>改修工事により部屋ごとに温度風量調整が可能になり、室内作業をしている事業や室外活動直後の事業などそれぞれの状況に応じて調整できるので、利用者が作業室で集中して作業に取り組める等、どの事業の利用者でも快適に過ごせるようになった。</p> <p>相談支援事業においては、障がいをお持ちの方が快適な環境下で落ち着いてヒアリングを受けられるようになった。</p>
	<p>府と市町村等との連携に資する成果</p>	<p>相談支援事業や利用者の担当者会議等において、構成市町担当者や他施設スタッフと意見交換する際も快適な環境下で利用者一人一人に合った支援について話し合えるようになった。</p> <p>福祉避難所に指定されており、災害時には地域の障がい者とその付き添いの方に、部屋ごとではあるが各々に適した室温の部屋で過ごしてもらえるようになった。</p>
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>最近災害が各地で多発しており、障がい者の避難所での環境が課題にあがっている。災害時に少しでも快適に過ごせる環境整備をしたことにより、地域の障がい者や関係者に災害時の障がい者の避難所について考えるきっかけとなった。</p>
	<p>広域的波及成果</p>	<p>広域で運営している乙訓若竹苑は福祉避難所に指定されており、災害時には利用されている障がい者だけでなく地域の障がい者とその付き添いの方の避難所になる。今回の改修工事により部屋ごとの温度風量調整が可能になり各々の障がいに合わせた調整がしやすくなり、過ごしやすい環境整備ができた。</p>
	<p>行財政改革に資する成果</p>	<p>省エネタイプの設備導入によりガス料金及び電気料金も大幅減額になったため、毎年の構成市町負担金減額にもつながった。</p>
	<p>その他の成果</p>	<p>省エネタイプの空調を設置したため、前年度に比べガス料金は39%減、電気料金は16%減となり、地球温暖化に貢献できた。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。